

令和4年度第5回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

- 1 日 時：令和5年1月12日（木） 19：00～21：00
- 2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
- 3 出席者（敬称略、順不同）：
 - 【理事】古城資久、伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二
 - ※理事総数：13名、本日の出席理事12名
 - ※理事の花田祥之は都合により第3号議案より審議に加わった
 - ※理事の菅生桃子は都合により欠席
 - 【監事】辻 惠、安原 徹
 - ※監事総数：2名、本日の出席監事2名
 - 【陪席】鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）
 - 二宮正晴（技術委員長）
 - 佐々木陽一（国際副委員長）
 - 松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、藤谷良弘、寺門浩之、關本正志、田中彰子、花田祥之、実島可斉、杉本好二、監事の辻惠、安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

- 4 開 会
定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。
- 5 議 長 古城資久

6 議 事

第1号議案：令和5年度役員選考委員会の設置及び役員選考委員の選任

三浦専務理事より、「役員選任規程の細則」第3条1項及び2項に基づく令和5年度役員選考委員会設置及び役員選考委員会の候補者名簿が議場に諮られた。提出された役員選考委員候補者は以下のとおり。

- ・理事代表1名 高井 隆義（常務理事）
- ・監事代表1名 安原 徹（公認会計士）
- ・正会員代表2名

三浦 孝仁（岡山県理事長）、藤野 毅（高校連盟理事長）

審議の結果、役員選考委員会の設置及び、役員選考委員の任命は出席理事全員一致で承認された。

第2号議案：「パワーリフティング用器具類の公式認定に関する規程」について

令和4年11月22日理事会において用具・用品の公認見直しについて審議された。規程改訂の過程で疑義が生じたため、スクワットラック及びベンチプレス台の分類条件について確認がなされた。当該器具が「I P Fの競技規則に準拠する本協会の競技規則に記載されている規格に合致していること」の条件区分でよいかの確認で、メリットやデメリットについて検討がなされた。本議案が審議された根底には地方協会の負担軽減があることから、I P F公認品にこだわる必要性は低いという意見が優勢となった。規程は改訂途中であり、細部構成については会長に一任し、リーガルチェック後に施行すること出席理事全員一致で承認された。

第3号議案：「ソーシャルネットワークサービス運用ポリシー」の新規制提

J P Aのソーシャルネットワーキングサービスアカウント（以下、SNSと記載）の運用に関するルールを定めたポリシー案が議場に諮られた。ポリシー案には、SNSの運用目的、遵守事項、注意事項や禁止事項等について定めてあり、SNSを通してパワーリフティング競技への関心を高めることを目的とするものである。審議の結果、「ソーシャルネットワークサービス運用ポリシー」新規制定は出席理事全員一致で承認された。

※理事の花田祥之は本議案から質疑に加わり、以降の議案は理事総数12名で審議を継続した。

第4号議案：50周年記念誌について

制作したJ P A 50周年記念誌について、著者及び記念事業出席者への配布が完了したが、残りがあることの報告がなされた。事務局での一部保管及び国立国会図書館への2部納本を行い、残数については発行費用の一部負担及び送料の負担を求めることで希望者へ配布することの検討がなされた。検討の過程で、記念誌の原価は一組1.1万円であり、半額の5.5千円と送料の負担を求めることが提案され、ホームページで希望者を募集すること、コスト面から増刷については行わないことも確認された。審議の結果、一部負担での記念誌を配布する案は出席理事全員一致で承認された。

第5号議案：フェアプレー委員会委員の辞任について

フェアプレー委員会の川島督司氏より、令和4年11月26日付けで辞任届が提出された。審議の結果、辞任を受理すること出席理事全員一致で承認された。

第6号議案：広報委員会委員の登用について

広報委員長の田中理事より、牛山恭太氏及び牛山貴子氏のプロフィール並びに推薦状の提出がなされ、広報委員の登用について議場に諮られた。審議の結果、広報委員に登用すること出席理事全員一致で承認された。

第7号議案：技術委員会委員の登用について

技術委員会の二宮委員長より西川亜紀子氏のプロフィール並びに推薦状の提出がなされ、技術委員の登用について議場に諮られた。審議の結果、技術委員に登用すること出席理事全員一致で承認された。

第8号議案：外部雑誌活用によるJPA活動の広報について

外部の雑誌を活用しJPAの諸活動について広報することが議場に諮られた。日本スポーツ振興センターの活動報告書においても外部媒体活用による広報が求められており、有償プランでの掲載ほか、無償での記事掲載についても提案があった。SNSを含む各種メディアを用いた広報戦略が策定されておらず今後検討することが話し合われた。審議の結果、外部雑誌については伊差川理事を通じて記事の年次掲載を出版社と相談すること出席理事全員一致で承認された。また、SNSについては制定した「ソーシャルネットワークサービス運用ポリシー」をもとに、田中広報委員長を中心にマネジメント強化を含む広報戦略策定を行うこととなった。

第9号議案：日本スポーツ協会コーチ1講習会の旅費及び諸謝金について

コーチ1講習会はスポーツ協会の事業でありJPAは委託を受けている。諸謝金についてはスポーツ協会の支給基準に従うこと及び旅費については実費を支払うこと原案が議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

第10号議案：コーチ1講習会利益相反取引の承認

令和5年1月21日（土）至22日（日）兵庫県明石市で開催するコーチ1講習会について、講師を務める実島理事及び受付案内を行う田中理事に対しては令和4年11月22日理事会において利益相反取引の承認を得た。松谷事務局長より会場役員を務める三浦理事及び菅生理事について追加承認したい旨が述べられ、旅費及び諸謝金支給の原案が議場に諮られた。審議の結果、原案は三浦理事を除く出席理事全員一致で承認された。

第11号議案：アンチドーピング関連の年次計画について

鈴木委員長より、アンチドーピング活動の年間計画について説明がなされた。また、WEBによる受講者が増大しており、毎回定員に達している報告もなされた。計画の承認と合わせ、WEB講習会の参加枠を現行の100名から300名へ増大させるため、年次2万6千9百円の有料

プラン加入について検討がなされた。審議の結果、アンチドーピング年間計画及び次年度WEB会議アプリ有料プランへの加入は出席理事全員一致で承認された。

その他議案：(1) アンチドーピング委員会医科学部会通達

冬季の練習による不慮の事故防止のため、アンチドーピング委員会医科学部会の通達を発信することの検討がなされた。審議の結果、通達案は出席理事全員一致で承認された。

(2) 埼玉県パワーリフティング協会アンチドーピング講習会開催依頼

4月2日(日)埼玉県協会よりアンチドーピング講習会開催依頼がなされた。ドーピング防止規程第15条に基づき理事会承認が必要となるものである。講師は鈴木委員長が務め、かかる費用は埼玉県協会が支弁する。審議の結果、埼玉県でのアンチドーピング講習会開催は出席理事全員一致で承認された。

(3) 佐賀県ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会について

実島理事より、佐賀県協会から依頼事項の検討がなされた。検討された依頼内容は以下のとおり。

・大会要項に共催者の追記

公開されている大会要項について、「基山町」を共催とすることが議場に諮られた。会場使用料の減免措置が取られるとのことで佐賀県協会理事長より依頼がなされている。審議の結果、基山町を共催者に加えること出席理事全員一致で承認された。

・物品販売の出店使用料について

基山町のルールにより物品販売には行政財産使用許可申請書に専有面積の届出と使用料の支払いが必要とのこと。使用料については実費を出店者に請求することが議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(4) 令和4年度の決算見込みについて

多くの業務をボランティアで遂行している結果で、本年度剰余金の発生が推定される。ただし、全ての業務において諸謝金を支払うには資産が及ばない状態にある旨も述べられた。公益法人のルールでは収支相償が求められ、発生が予想される剰余金の使途について検討することになった。中期的にみて2026年のFISU国際大会日本開催事業が予定されており、大会を成功させるため剰余金を特定費用準備資金積立とすることが提案された。検討の過程で、国際大会開催総費用推定額7千万円のうち、1千万円程度の積立準備が必要ではないかという予想が見積もられ、今後年次250万円の積立を目標にすることも合わせて提案された。審議の結果、剰余金が発生した場合は特定費用準備資金積立とすること、また国際大会開催のための積立年次目標を250万円とすること出席理事全員一致で承認された。

(5) 世界ベンチ大会と全日本パワー大会の日程について

本年5月20日(土)至21日(日)に沖縄県で開催予定の全日本パワー大会がIPF世界ベンチ大会と日程の重なりがあり、全日本パワー大会の日程移動措置が取れないものか意見がなされた。全日本パワー大会設定の過程で各種都合を検討しており、変更できない可能性もある。沖縄県協会へ大会日の移動が可能であれば13日至14日に変更希望の打診をしてみることが提案された。審議の結果、日程変更依頼について出席理事全員一致で承認された。

※理事会後の沖縄県への確認作業において、5月13日至14日は体育館都合で不可能であった。予定通り20日至21日の開催とする。

(5) 監事の理事会推薦について

弁護士の辻恵氏及び公認会計士の安原徹氏について、理事会より次期監事として推薦することが議場に諮られた。審議の結果、監事の理事会推薦案は出席理事全員一致で承認された。

7. 報告事項

(1) 日本スポーツ振興センター動画視聴の依頼について

日本スポーツ振興センターより、次年度の助成に動画視聴が必要となった。動画は事務担当者のみではなく、多くの関係者へ視聴を依頼するもので、JPAでは理事会冒頭において出席者全員で視聴を行なった。視聴した動画は以下のとおり。

- ・スポーツインテグリティに関する動画

<https://www.youtube.com/watch?v=PasLUFEBuFI>

- ・スポーツとSDGsに関する動画

<https://www.youtube.com/watch?v=0nbb0GAeZK8>

- ・スポーツくじの購入によるスポーツ支援の仕組みに関する動画

<https://www.toto-growing.com/shikumi>

(2) 加盟都道府県のホームページ整備状況について

令和3年12月4日付の加盟団体宛通達において、令和5年3月末までに加盟都道府県協会においてホームページ開設と情報公開の依頼をしているが、本日現在12県において対応がなされていない報告がなされた。

(3) 技術委員会とアスリート委員会の協議結果について

技術委員会とアスリート委員会において協議された内容の報告がなされた。協議内容は以下のとおり。

①マスターズパワーリフティング選手権大会の出場標準記録向上について

- ・運営都合による出場標準記録向上については理解をしている。
- ・ジャパングームズの考え方から、JPA競技会のあり方が競技性とエンターテイメント性の二軸になることから、競技性の高い大

会において今後更なる標準記録の上昇が検討されることはやむを得ないと考えている。

- ・チャンピオンスポーツとして世界の頂点を目指すカテゴリから外れるマスターズ層についても活躍ができる大会構築について検討してほしい。

②国民体育大会公開競技の女性出場枠拡充案について

- ・女性増加は賛同する

③ジャパンゲームズの概要とJPA事業の今後について

- ・大きく分けると、国際大会の頂点を目指したチャンピオンスポーツと、よりイベント性を持たせた生涯スポーツの大会に二分される。
- ・生涯スポーツの中でも楽しみあるイベント的大会と、競技性を高めた大会が考えられ、JPAも事業再編の時期に来ている。今後の検討課題とする。

(4) 技術委員会のペーパーレス推進について

審判や日本記録認定書類の印刷について年間10万円以上の経費が掛かっており、中長期計画にも記載しているとおり、技術委員会事務においてもペーパーレス化を進める報告がなされた。

(5) 基山町広報誌

大会開催地の基山町広報誌において佐賀県ジャパンクラシックパワー大会の紹介記事を記載したい旨、佐賀県福井理事長より連絡があった。広報面から好ましいことであり、実島理事から快諾である回答をすることとなった。

(6) 取材内容のSNS広報について

佐々木国際副委員長より、国際大会に出場した選手が外部雑誌に特集された場合、広報委員会と連携しJPAのSNSを使って広報することのアイデアが出された。即応性あるSNSの活用例であり、今後SNSへの掲出を行うものとする。

(7) 今後の課題として

古城会長より、加盟団体及び加盟都道府県協会においてガバナンス、コンプライアンス、インテグリティの問題が散見されることが述べられた。次期からは加盟団体及び加盟都道府県協会の指導に着手し、次期の1～2年をもってJPA組織改革を完了したい旨の報告がなされた。

(8) 次回理事会

令和5年3月9日(木) 19時からWEBにて

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は21:00に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和5年1月12日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長 古城 寛久 
(代表理事)

監 事 辻 恵 

監 事 安原 徹 